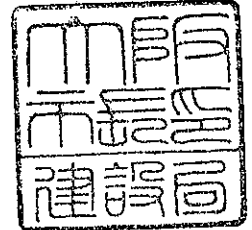


大建第 1179 号
平成 19 年 5 月 11 日

国土交通省道路局長
宮田 年耕 様

大阪市長
關 淳一



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

平成 19 年 4 月 2 日付け国道企第 114 号にて依頼のありました標題について、別紙のとおり回答します。

(担当)

建設局総務部担当係長 (中長期計画担当)

山 向 (電話 : 06-6615-6573)

中期的な計画の作成にあたっての大阪市長意見

道路の整備に関する基本的な考え方

大阪市は、高密度な経済活動や国際的な集客観光施設等の集積により、関西の中核都市として、また、日本第2の都市としての役割を果たしてきた。このような大都市としての都市活動を支えていくためには、間断なく社会基盤を整備更新していく必要があり、その中でも道路は、円滑に交通を処理するだけでなく、良好なまちなみを形成し、安全で快適な市民生活や産業活動を支える最も根幹的な社会基盤として、いつの時代も計画的な整備更新が求められている。

大阪市では、早くから市街化が進み、道路についても一定の整備水準に達してきているものの、著しい市街化あるいは地価高騰による事業進捗の低下や、その後の財政状況の悪化に伴う公共事業費の削減などにより、社会資本として十分なストックが確保できないまま成熟社会を迎えるに至っている。

大阪地域における道路の具体的課題としては、広域幹線道路および都市計画街路の交通ネットワークが未完成であり、交通隘路によるボトルネックが存在することや、安全・安心で快適な道路整備に対する市民ニーズへの対応、減少する維持管理財源を踏まえた道路保全レベルの確保などが挙げられる。

今後、広域かつ総合的な視点から必要な道路については優先的・重点的な投資により整備を進め、管理面を含めた持続可能な道路整備システムを構築することにより、これらの課題を解消し、市民生活や産業活動を支える都市基盤として道路を整備・維持していく必要がある。

これからの道路整備に対する考え方

<これからの道路政策に関する基本的な意見>

1. 国土の発展を牽引する大都市としての必要な政策

関西圏の経済活性化ひいては我が国の国際競争力の強化を図るため、

- ・ 地域高規格道路および未着手都市計画道路の計画的な整備の推進に向けた国の継続的な支援。
- ・ 物流コスト低減や一般街路の渋滞緩和等のための高速道路料金の引き下げへの国費投入。
- ・ 道路の適切かつ効率的な維持管理の実施に向けた予防保全事業に対する国の支援制度の創出。

2. 国と地方の役割と負担の考え方

- ・ 国道の整備及び管理に係る国直轄事業負担金制度の見直し（地方負担の軽減）。
- ・ 必要な地域高規格道路の早期事業化を図るための地方財政の実情に応じた新たな事業制度の創設。

<重点化を進める上で特に優先度の高い施策>

1. 関西圏の経済発展に寄与する都市基盤の整備

関西経済の活性化に向けて、港湾部と内陸部を結ぶ物流の効率化や関西圏の各地域の連携に資する広域的な交通ネットワーク整備、および都市の再生に資する拠点開発に関連する道路整備の実施。

【大阪都市再生環状道路の整備、開発拠点関連の都市基盤整備】

2. 安全・安心で快適な市民生活を支える都市基盤の整備

安全・安心で快適な暮らしを求める市民ニーズに応じた都市基盤整備の実施。

【開かずの踏切対策、交通安全対策、密集市街地の緊急整備】

3. 道路利用における課題の解消

道路利用に関する喫緊の都市的課題に対応した施策の推進と、道路の適切かつ効率的な維持管理の実施。

【バリアフリー化の推進、駐車・駐輪対策、適切な維持管理の実施】

<効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと>

1. 選択と集中による事業効果の早期発現

緊急性が高く早期の事業効果が期待できる施策へ集中投資を行う。

2. 維持管理の効率化

都市基盤施設の機能の維持に重点を置いた維持補修の実施と計画的予防保全対策による施設の延命化とコスト縮減を図る。

大阪市における優先的に実施する事業の例

<これからの道路政策に関する基本的な意見>

1. 国土の発展を牽引する大都市としての必要な政策

- ・ 物流コストの低減や一般街路の渋滞緩和等を図るため、割高な乗継ぎ料金の是正等による料金軽減制度が必要。

2. 国と地方の役割と負担の考え方

- ・ 事業中の淀川左岸線2期および計画構想中の淀川左岸線延伸部など、大規模な道路整備に関しては、早期整備が図られるよう地方財政の実情に応じた新たな事業制度の創設が必要。

<重点化を進める上で特に優先度の高い施策>

1. 関西圏の経済発展に寄与する都市基盤の整備

【大阪都市再生環状道路の整備】

- ・ 淀川左岸線2期事業

【開発拠点関連の都市基盤整備】

- ・ 大阪駅北地区開発など

2. 安全・安心で快適な市民生活を支える都市基盤の整備

【開かずの踏切対策】

- ・ 連続立体交差事業（阪急京都線・千里線）など

【交通安全対策】

- ・ 歩道設置など

【密集市街地の緊急整備】

- ・ 淡路駅周辺地区土地区画整理事業など

3. 道路利用における課題の解消

【バリアフリー化の推進】

- ・ 電線類の地中化など

【駐車・駐輪対策】

- ・ 中心市街地での放置自転車対策など

<効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと>

1. 選択と集中による事業効果の早期発現

【緊急性が高く早期の事業効果が期待できる施策への集中投資】

- ・ 早期に完了が見込まれる事業中の都市計画道路への集中投資

2. 維持管理の効率化

【計画的予防保全対策による施設の延命化とコスト縮減】

- ・ 橋梁管理システム（BMS）等の活用